

こんにちは

和歌山県知事  
大橋正巳

1970年代は人間尊重、内政充実の時代といわれる。そしてその本格的第一歩の年は71年の本年にこそあるといわねばならぬ。

私は60年代の後半は断絶と対決の時代であったと思う。治めるものと治められるもの、教えるものと教えられるもの、経営する人と働く人、企業と住民、いろいろな形で各方面に断絶と対決が露骨にむき出しにされた。

さて、70年代はふれあいの時代にせねばならぬ。それは、人間尊重の基本的な精神であるからである。

そして、私どもの努力によってふれあいの政治、ふれあいの教育、ふれあいの経営が推進されなければならないし、そのような70年代にすべきだと思っている。

なかなか困難なことであろう。しかし、すくなくともそういう気持で努力する決意である。



新たな  
「県つくり」の出発点  
県民の暖かい心と  
熱情で盛りあげよう  
□夏季大会まであと189日(3月1日)  
□秋季大会まであと238日(現在)

主婦のねがい

## いつまでも青い空の下に

私たちの町をじわじわと灰色のベールが包み始めている。  
河西地区の方々は粉じんで洗濯物をよごされ、宇須、小雜賀地区の方々からは和歌川に注ぐ廃液で“くさい”とさざざな苦情が出はじめた。

(前略……)

そのうえ、車の増加で一酸化炭素がだいに多くなってきたといわれている。そんななかで、ほこりにまみれて力なく立っている木を見ると、私はほんとうに悲しくなる。

科学や産業が発展して、県民の生活が向上するのは結構だが、その結果、住民の健康や生活環境が破壊されたのでは何の価値もないと思う。

さいわい、大橋知事は本年二月十日の記者会見の席上、住民福祉を最優先するという決意をはっきりと打ち出されたが、テレメーターシステムの導入をはじめとして、企業側の公害防止対策に対しても知事自身が全部チェックするという態度を明らかにされた。

大気中の硫黄(いおう)酸化物環境基準も一時間○・一六PPM(国は○・二PPM)、年平均値○・〇四PPM(国は○・五PPM)という国よりきびしい県独自の基準を定め、住友金属とは年平均値○・一二PPMより出てはいけないという公害防止協定を結ぶほか、住民参加をおこむとのことであつたが、こうした県当局の動きは先手行政の最も必要とする問題であるだけに、私たち県民にとっては喜ばしいことだと思う。

イタイイタイ病や四日市公害のような被害が出始めてからではもう遅いのである。



昨年8月から建設をすすめていました「テレメーターシステムによる大気汚染監視装置」が完成。

## 空をまもる

# きびしい決意!



和歌山市内に8カ所  
海南市内に3カ所のロボット測定局があり、いおう酸化物、粉じん、風向、風速、温度を刻々測定、そのデータを有線で中央監視センターに伝送してきます。

中央監視センターではそのデータを電子計算機で処理し、色と数字とグラフで各地の大気汚染状況を一日でわかるようにしています。

そして大気汚染が基準になると、緊急工場に對しうつせいに指令し、汚染を低くします。

テレメーターのしくみ

和歌山市内に8カ所海南市内に3カ所のロボット測定局があり、いおう酸化物、粉じん、風向、風速、温度を刻々測定、そのデータを有線で中央監視センターに伝送してきます。

中央監視センターではそのデータを電子計算機で処理し、色と数字とグラフで各地の大気汚染状況を一日でわかるようにしています。

そして大気汚染が基準になると、緊急工場に對しうつせいに指令し、汚染を低くします。

昨年8月から建設をすすめていました「テレメーターシステムによる大気汚染監視装置」が完成。

大橋知事が始動のボタンを押し、本格運転を開始しました。

私はこれから先、何年たっても和歌山の空がどこまでも青く澄み、新しい工業県としての面目を十分發揮しながらも、わが国のレクリエーションのメカとして位していることを願わずにいられないものである。

筆者は和歌山市に住む  
那須徳子さん(主婦)です



# 活気あふれた 青年和歌山の建設

昭和四十六年度当初予算案

交通・公害など暮らしに重点

県の昭和四十六年度当初予算案がさる二月十七日から開会された  
県議会二月定例会で審議されています。

一般会計で総額六百十一億一千四百四十万六千円。

統一地方選挙など諸般の情勢から例年と異なり年度途中で肉付けし  
て行くという骨格的性格を持つた予算編成になりました。しかし、  
黒潮国体の開催準備、交通、公害、医療、福祉、山村振興など県民  
生活に密着した事業には積極的に事業費を計上しています。

県議会において、大橋知事は予算編成にあたって、所信を、おおよ  
そ次のとおり述べました。

**県民一人一人の不安のない  
明るい生活が願いです**

「…県政を担当以来、私は『活気にあふれた青年和  
歌山の建設』をめざして懸命の努力を傾けてまいりま  
した。さいわいにして、県議会議員各位と県民一人一  
人のご協力により県勢発展への基盤が固まり着々とそ  
の実をあげつつあります。  
しかしながら、県民一人一人が真に『くらしが楽になつた』とい  
う実感をもつようになるためには、いま  
なお数多くの課題をかかえているのであります。  
私は『県民との対話の県政』をうたい、機会あるご  
とに直接県民一人一人とヒザをまじえて話し合つてま  
いました。こうしたなかで、県民の誰もが不安のな  
い、明るく楽しい生活ができるようにすること、わけ  
ても恵まれない人々、産業、地域に手厚い施策を講じ  
ることこそ眞の愛情のある政治であることをはだでも  
つて感じました。

七十年代は和歌山県躍進  
の時代です

千九百七十年代は人間性回復の年代であり、本年は  
実質的にその第一歩を踏み出すべき年であります。  
私は、この七十年代こそ和歌山県のもつ数多くのす

4月11日

知事・県議会議員の選挙

選ぶ日が生きて伸びゆく地方自治  
投票日あなたが発言する日です  
ことしは統一地方選挙の年



あなたのまちの  
投票日は

知事 県議会議員：4月11日(日)  
市町村長……………4月25日(日)  
同議会議員……………4月25日(日)

(市町村長 新宮市、野上町  
美里町、粉河町、貴志川町、  
高野口町、九度山町、広川  
町、那智勝浦町  
海南市、橋本市、新宮市  
下津町、野上町、貴志川町  
高野口町、九度山町、高野  
町、花園村、湯浅町、清水  
町、川辺町、竜神村、南部  
町、白浜町、すさみ町)

（市町村議員）和歌山市

県議会だより  
12月定例会後  
委員会の活動状況

■ 同和対策特別委員会

昨年12月15日開会、同和室長から長期計画策定についての中間報告をきき、46年度国庫補助金の大幅引き上げの要請について打ち合せを行ないました。

■ 決算審査特別委員会

昨年12月定例会で委員10人をもって設置され、同月24日、同25日、1月7日、8日、18日、19日の計6日間にわたり昭和44年度普通会計決算を慎重審査しました。

2月定例会最終日に認定すべきものとして委員長報告がなされることになっています。

■ 経済委員会

1月11日から3日間、茨城県鹿島町の住友金属鹿島製鉄所を視察しました。陸の孤島とまでいわれた当地は現在鹿島臨海工業地帯が建設され、世界で最も深いと言われる人工港がつくられて巨大な工場群が次々に建設されております。

鹿島製鉄所で操業している圧延部門は、すでに生産量でも和歌山製鉄所をしのいでおり、目下従業員1万人最終粗鋼1500万トンをめざして生産に取り組んでいます。

■ 公害、交通対策特別委員会

1月14日開催、県、和歌山市が住友金属との間で公害防止協定を結ぶことについて、覚書案も含めて審議が行なわれ、住民の工場立入問題や協定違反に対する措置などについて強い意見が述べられました。

■ 国体対策特別委員会

1月28日開会、昭和46年度国体予算の査定状況について国体局長から説明をきいた後、国体開催市町村に対する財政援助や選手強化のための補助金の交付、海南市黒江駅臨時乗降場の整備など、特に予算化を必要とする事項について委員会としての意見をとりまとめ要望書を作成して予算査定中の知事に、これらの予算化を強く要望しました。

■ 総務委員会

1月29日開会、継続審議になっている請願の今後の処理について協議した結果、清涼飲料と果汁飲料にかかる物品税の請願に関し、特に税法上の見解や、本県のみかん業界におよぼす影響の有無などについて意見をきくため当局から関係者を招いて説明をききました。また国体予算や国体関連事業の予算化なども、国体局土木部当局の説明をきいた後、国体宣伝看板などの取り付けを急ぐよう特に強く要望いたしました。

なお、2月12日に議会運営委員会が開かれ、当局から2月定例会に付議される案件や、昭和46年度当初予算の概要について説明をきいたのち、2月定例会の会期を2月17日から3月5日までの17日間とする取り決めを行ないました。  
〔県議会事務局〕



所信を述べる大橋知事



実質的にその第一歩を踏み出すべき年であり、本年は私は、この七十年代こそ和歌山県のもの数多くのすぐれた資源を県民福祉の向上に活用しなければならない年代であると信じます。

青い空、緑の山々、紺碧（こんぺき）の海、祖先から受けつがれたこれらの貴重な県民の資産を大切に保存し、青少年の健全育成の場として、さらには社会福祉施設の適地として活用するとともに、有利作物の選択的拡大を中心とした農林漁業の振興と流通機構の改善をはかるとともに、経営の近代化、集團化ならびに金融の円滑化を通じて中小企業の基盤を強化する一方厳しい公害防止協定の締結を前提として各産業の調和を基礎に県民生活の向上をはかつてまいりたいと存じております。

また、亘船時代に対応して紀伊水道の活用をはかりさらに生活生産の基盤である道路など交通体系を整備して大都市との時間距離を短縮する必要があると考えております。

千九百七十年代は人間性回復の年代であり、本年は

国体に結集された情熱を  
青年和歌山のエネルギーに

黒潮国体は天皇皇后両陛下の行幸啓をはじめ、全国からも海外からも数多くの方々が来県されます。これまでの新県民運動の成果をこの機会にこそ花を咲かせるとともに、国体終了のあと、国体に結集された百万県民の情熱が未来にはばたく青年和歌山のエネルギーにしなければならないと存じております。

私は渾身（こんしん）の努力をはらつてまいる決意であります。

また、亘船時代に対応して紀伊水道の活用をはかりさらに生活生産の基盤である道路など交通体系を整備して大都市との時間距離を短縮する必要があると考えております。

また、亘船時代に対応して紀伊水道の活用をはかりさらに生活生産の基盤である道路など交通体系を整備して大都市との時間距離を短縮する必要があると考えております。

また、亘船時代に対応して紀伊水道の活用をはかりさらに生活生産の基盤である道路など交通体系を整備して大都市との時間距離を短縮する必要があると考えております。

また、亘船時代に対応して紀伊水道の活用をはかりさらに生活生産の基盤である道路など交通体系を整備して大都市との時間距離を短縮する必要があると考えております。

あした  
の設計

青年議会の発言から

くらいは紀三井寺運動公園やスポーツセンターを無料で開放してはどうか。  
（和歌山市・成松保二さん）

婦人参政

二十周年記念明るく正しい選挙推進大会から

広報モニターから

百六十円で県があつせん

沿道にさき乱れた花々と

各戸に立てられた日の丸

津町・西田照高さん

○：すでに亜硫酸ガスにおかされているところに、なぜテレメーターをおくのか汚染されではない地域にテレメーターをおいて防衛すべきではないのか。（下

井美之さん）

○：国人は帰ってきていつた。「この町に住みたい。しかし、働く場がないではないか。ふるさとに再び建設のつち音が響くのはいつのことか」と。（清水町・中村正一さん）

○：健康で明るい人間関係をつくるために、最近では学校の運動場や体育館が開放されつつあるが、県民全

○：「見えない人に真心こもる」という標語があつた。その私が、現在、大学で社会福祉を専攻している何とも皮肉な現象に奇妙な気分におそわれた。（九度山町・柏木民子さん）

○：「見えない人に真心こもる」という標語があつた。その私が、現在、大学で社会福祉を専攻している何とも皮肉な現象に奇妙な気分におそわれた。（九度山町・加山千代美さん）

○：これまで多くの知識、習慣を誰から教わったのかと考える時、両親、年長者

（吉備町・最田真枝さん）

○：「まだこころ」「親切」という遺産を残そう。

（吉備町・星田仁志さん）

（吉備町・星田仁志

## 消費生活

センターだより

### ??二枚舌のかん詰??

「全糖」と表示してあるかん詰を買っておいたところ、ラベルがはずれてその下に「サイクラン酸塩含有。(チクロの正式の名称)と書かれたもう一枚のラベルが貼られていた。チクロ入りをごまかしているのではないか」という苦情が数件ありました。

人工甘味料のチクロが使用禁止されたことはご存じだと思いますが、指摘のあったかん詰を当センターで検査したところ、さわいチクロは検出されませんでした。しかし、事情を調べたところ、販売禁止後もチクロ入りとすでに表示してしまっている古いかんが残っているので、それにラベルを貼りなおして出荷していたことがわかりました。もちろん、中味にはチクロが含まれていないので、法的には違反ではありませんが、消費者を不安がらせることでもあり、該当のメーカーに注意いたしました。

なお、県が先般、実施した店頭検査では、まだ、チクロ入りのかん詰が出来ていていましたので、疑わしい場合は、当センターか、もよりの保健所へお知らせください。

### 3月の“木曜教室”

どなたでも、自由に受講できます。(毎週木曜日午後1時30分から)

- 3月4日 家計がピンチな時の栄養料理
- 3月11日 化粧品の選び方
- 3月18日 繊維の特徴とその見分け方
- 3月25日 自然食品を使っての健康料理

### 「相談や苦情、講座の問い合わせ方法」

- ④ 和歌山市西汀丁1-2  
和歌山県経済センター2階  
和歌山県消費生活センター
- ☎ 和歌山 (0734) 33-1551

# 民泊でかようまごころ



「お兄ちゃん、がんばってね」民泊家庭と選手たちの間には、いまでも友情の手紙の交換が続けられている。

(3年前の福井国体で)

### 民泊予定人員

和歌山市	4,590人
海南市	400人
打田町	1,200人
粉河町	450人
かつらぎ町	1,000人

民泊は、黒潮国体に参加する多くの人々に、紀州人のあたたかい心をとおして、和歌山を理解していくよい機会です。



★ことしは立県百年、和歌山県政史によりますと和歌山県の誕生は明治四年十一月二十二日★「戸数およそ十二万四千六百八十二戸人員およそ五十五万六千九百十九人なり」とあります。★百年間に戸数、人口とも倍増したとともに、ここに県勢の成長ぶりをみる思いです。

★いま青年和歌山は大きな希望をもって進んでいます。黒潮国体をあすへ

ます。黒潮国体をあすへ

る門医が、無料でご相談に応じています。

三月の相談日程(相談時間は午後一時から三時まで)

四日 十一日 内科・小児科 耳鼻咽喉科・眼科・皮膚科

十八日 外科・整形外科 婦人科・産科

二十四日

### ママさん会館をご利用ください

婦人のみなさんはもちろん、男の方もご家族づれや、婦人を含めた団体の場合、ご利用できます。

予約は電話かハガキで、西牟婁郡白浜町古賀浦3770 電話 (07394) (2) 3050 ママさん会館へ 1泊2食 1,200円 小人1,000円

簡易保険によって、学校、住宅、保養センターなど

が建設され、国民各層の経済生活の安定と福祉の増進に寄与しています。

あかるい生活の設計に、お子さまの輝かしい未来のために郵便局の簡易保険を。

危険がいっぱいの現代、よい子のまもりに、傷害特約付簡易保険を。

●代表 ○七三六六(2)二二〇一  
●夜間・休祭日 ○七三六六(2)二二〇六、(2)二二〇七

那賀県事務所への電話は

あかるい生活の設計に

簡単保険にはいりましよう

心身障害児(者)のための扶養保険

障害児(者)を扶養されている方

が月々一定の掛金を積み立ててい

くと、万一千のとき、後のこされ

た障害児(者)に一生涯毎月二万円

の年金を、お送りする「心身障害者扶養共済制度」が

実施されています。近くの町村役場か福祉事務所で、

お聞きのうえ加入してください。

## お知らせ

川永団地再募集と

融公庫融資付き

受付 三月二十三日～三月二十七日

申込み用紙は三月二十日から、和歌山市小松原通り

一丁目(県内)の同公社で、実費配布します。なお

融資額や申込み資格など詳細も

同公社へ。

建設地 和歌山市冬野字砂山  
募集戸数 七十戸(耐火構造)

土地 約五百三平方メートル

建物 約五十七平方メートル

分譲価格 五百四十二万円～六百一十三万円(うち二

百二十三万円～二百四十六万円の住宅金

融公庫融資付き)

受付期間 四月一日～二日

受付場所 県庁東別館玄関案内所

家賃 六千三百円

申込み資格など詳細も

同公社へ。

若葉団地分譲住宅の募集